

学術部学術委員会学術研究推進班

発達障害領域:

特別支援教育における作業療法の
効果に関する研究

概要

本研究では児童発達支援および放課後等デイサービスにおける作業療法士の役割の把握と、これらの施設で行われている保育所等訪問支援において学校教育とどの様な関わりをもち支援を行っているのかを把握することを第一の目的とする。更に全国の協力施設で支援効果に関する評価指標を統一して6か月程度の介入効果について明らかにする。

研究計画

2022-2023年度

- ①研究計画の立案と倫理申請
- ②一次調査と協力施設の募集

一次調査では児童デイサービス(放課後・発達支援)を対象として、運営方法、業務内容、作業療法士の関与などの一般情報をアンケート調査により実施、2次調査での作業療法士による介入による効果判定研究への協力について調査する。

2024-2025年度

- ①2次調査として協力施設での支援効果に関する統一した評価指標の作成と、6か月程度の介入効果についての研究

研究計画

研究対象施設: 児童福祉法に定められている障害児通所支援施設
児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス
保育所等訪問支援

研究対象疾患: 上述の施設を利用している発達障害

データ: 施設の種別、支援職種、対象者の基本情報、提供サービスの特徴
作業療法関連サービス内容、発達評価 等

研究組織体制

研究主体は日本発達系作業療法学会とし、専門ワーキンググループを組織して実施する。

本研究へ協力頂ける施設の募集: * 今後周知

協力内容: 研究協力者の派遣、調査協力など

担当: 助川文子 県立広島大学
問合せ先(a-sukegawa@pu-hiroshima.ac.jp)